

2013 年度中国人 JET 青年 55 名が日本へ！

～第 27 期 JET プログラム渡航前オリエンテーション及び歓送交流会が開催されました～

北京事務所

2013 年 4 月 9 日(火)、北京市の日本大使館において、2013 年度の JET プログラムで日本へ派遣される中国人 JET 青年の皆さんに向けた渡航前オリエンテーション及び歓送交流会が、在中国日本大使館主催で開催されました。

今回、日本へ派遣されるのは中国各地から選抜された国際交流員 50 名、外国語指導助手 5 名の計 55 名です。

～JET プログラムとは～

日本の地域レベルでの国際交流及び外国語教育の充実を図り、日本と諸外国との相互理解、地域の国際化の推進に資することを目的に、世界各国から青年を招致し、地方自治体の国際交流担当部局や小・中学校や高等学校において国際交流事業や語学指導に従事しています。

JET プログラムによる中国人青年の日本への派遣は、1992 年に始まり、2012 年までに約 1,300 名が派遣されています。

クレアでは、この JET プログラムを円滑に実施するため、日本の関係省庁及び受入団体との連絡調整、受入団体への外国青年の斡旋・配置、受入団体への助言・指導、外国青年に対するオリエンテーション・研修、カウンセリング及びプログラムに係る広報活動などを実施しています。

(1) 渡航前オリエンテーション

「渡航前オリエンテーション」ではまず、在中国日本国大使館の三上公使から『「日中の架け橋」-JET の皆さんに期待すること』をテーマに講演があり、困難な両国関係に直面している中、JET 青年の皆さんが今後の日中友好の架け橋となることへの期待が述べられました。続いて、当事務所田中所長が講演に立ち、「日本の地方自治体と地域課題」をテーマに、日本の地方自治制度の概要や最近の地方自治を巡る話題、地方自治体の国際交流の現状などについて説明を行いました。その後、JET プログラム経験者 2 名が仕事の面から生活全般の話まで多岐に亘り日本滞在中の体験談・経験談の発表を行いました。JET 青年の皆さんは、いずれの講演・説明に対しても真剣な表情で熱心に耳を傾け、今後の日本での仕事や生活を想像しているようでした。



田中所長による講演



JET 経験者が語る日本での体験談

(2) 歓送交流会

引き続き行われた歓送交流会では、まず在中国日本大使館の木寺大使、中国外交部の陳副司長からあいさつがありました。それぞれ現在の日中関係に触れた後、このような時期だからこそ両国間の人材交流に意義があり JET 青年の皆さんにはその最前線に立って派遣される地域との交流を行ってほしいと激励がありました。その後、当事務所田中所長による乾杯の発声の後、参加者同士が交流を深めました。今回派遣される JET 青年だけでなく、日中の関係機関からの参加者、またオリエンテーションに引き続き参加してくれた JET 経験者も交えながらあちらこちらで交流の華が咲き、親睦を深め合っている様子でした。JET 青年の皆さんは、いよいよ始まる日本での活動・生活への期待に胸を膨らませているようでした。

交流会は終始和やかな雰囲気うちに終了し、翌日、皆さんは日本へと旅立っていきました。



木寺大使夫人（左）と談笑する参加者達



参加者同士で記念に一枚

(3) おわりに

今回日本へ派遣されるのは合計 55 名です。昨年からの日中関係悪化後初めてとなる JET 青年の派遣ですが、例年に見劣りしない数の青年が派遣されます。木寺大使及び陳副司長双方からのあいさつにもあったように、日中関係がこのような時期だからこそ、地域

(CLAIR メールマガジン 2013 年 5 月配信)

間における草の根交流を大切にし、継続していくことが重要だと思います。生活習慣や文化面での違いから戸惑う場面もあろうかと思いますが、派遣される地方自治体はじめ地域の方々との交流を深め、日中両国の架け橋になってもらえればと思います。JET 青年の皆さんの日本での活躍を心からお祈りしたいと思います。加油（がんばれ）！

(川島所長補佐 群馬県派遣)

